

## 相愛大学研究シーズ集

シーズ名	心理療法としての音楽療法(個と個の相互作用)／個と環境の相互作用	
所属	音楽学部	音楽学科
氏名	浅井あゆみ	
【概要】		
<p><b>①心理療法としての音楽療法(個と個の相互作用)</b>          様々な音楽療法のアプローチのなかから、特に自らの英国での学びをベースにした音楽療法について掘り下げます。具体的には、音や音楽の対話からなるクライアントとセラピストとの音楽づくり(即興を中心とした活動)を軸に据えた、二者関係(心理療法)モデルによる音楽療法です。音楽そのものもさることながら、音楽をとおした表現やコミュニケーションが、臨床的意義を持つことについて探求します。</p> <p><b>②個と環境の相互作用</b>          前述のモデルは、個と個の相互作用によるダイナミクスが互いに影響を与える心理療法モデルです。それに加え、現在、社会福祉の主流アプローチの一つであるジェネラリストソーシャルワークの観点から、さらに大きな枠組みで音楽療法をとりまく環境を捉えていく事にも関心があります。個を見つめるだけでなく、個を取り巻く環境に対して、マイクロ・メゾ・マクロ的視点を持って現象を捉えていくという視点です。この考え方は、福祉の現場や文脈で仕事をする事が多い日本の音楽療法の評価にも貢献できるのではと考えます。          なお、クライアントにとどまらず、現在発展途上である音楽療法士という職業や音楽療法士をとりまく環境について考察する切り口にもなると考えており、将来的には音楽療法教育にも活用できるよう研究を進める予定です。</p>		
キーワード	心理療法としての音楽療法(個と個の相互作用)、個と環境の相互作用	